

Soroptimist

INTERNATIONAL OF YAMANASHI

クラブ会報 | No.34 [2009年7月~2010年6月]



国際ソロプチミスト山梨

ご挨拶



会長
山辺 文子

SI山梨は今年で認証34周年に入り、34名の会員で活動致しました。今期のソロブチミスト日本財団には社会ボランティア賞、青少年有成賞、環境貢献賞に推薦者を選出させていただきました。その中で環境貢献賞で10名のファイナリストの一人に選ばれました事は大きな喜びでした。SIAプロジェクト賞では、WOA賞(女性に機会を与える賞)、ルビー賞(女性を助ける女性のために)、ヴァイオレット・リチャードソン賞VRA賞(ボランティア活動に励む若い女性を称えて)の3賞に推選させていただきました。その中でVRA賞では東リジョン特別賞をいただき受賞された女子高校生と共に会員一同誇りに思っております。

国際ソロブチミストアメリカの使命でもあります「女性と女兒の地位向上」の為に創立されました「夢を生きるチーム」のチャーターパートナーとして、ドリーム・チェイサーへのご協力が出来ました事は、会員の大きな喜びであります。

今まで念願しておりましたSI山梨のホームページも会員同士で作成致し、ようやく皆様に見ていただく事が出来ました。アドレスは<http://www.si-yamanashi.jp>です。どうぞご覧いただきアドバイス等をいただけたなら幸いです。

私達は微力ではありますが、世界の、日本の、そして古里山梨の為にどの様な奉仕が出来るかも考えて、一人では出来ない事を会員全員で力を合せて、誠実に行動させていきたいと願っています。今後とも皆様様の暖かいご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。そしてこの一年、経験の浅い私を支えて下さいました会員のお一人、お一人に心より感謝申し上げます。

第1回日本語作文コンテスト

国際親善と理解委員会

2009年7月26日に、多文化共生を考えるハート51の主催、国際ソロブチミスト山梨協賛で山梨県国際交流センターにて開かれました。

開催主旨は、今後の日本語能力の励みとなるよう「書く」という事に重点がおかれました。山梨県在住の24名(6才~60才)が参加され、自分自身の体験や日頃の思いを発表されました。その中から最優秀賞として、24歳の青年(ブラジル出身)の瀬戸の瀬匠になった体験談から、日本の伝統的な漁法の保存に対する深い思いがつけられていて感動致しました。優秀賞には60才の主婦(アルゼンチン出身)の書かれた「日本の単身赴任について」でした。日本ではあたり前の様に思われている単身赴任の疑問点を書かれ、単身赴任先で夫を亡くした妻の深い悲しみが私達の涙を誘いました。特別賞には14才の中学生(ペルー出身)が目的を持ってこれからがんばっていききたい事を取り上げていました。その様子が生き生きと書かれていました。

以上24名の方々の作文を国際ソロブチミストの会員も審査員として参加させていただき、感じました事は、国籍にかかわらず私達は同じ山梨県人として共に相互理解を生きているという事を教えていただきました。



写真で見る活動



国立甲府病院夏祭り手伝い (2009年7月29日)



東京と山梨をむすぶ子供文化交流会 (2009年8月2日)



第33回チャリティーバザー (2009年9月25日)



C地区研修会 (2009年10月9日)



ハンドインハンド植樹 (2009年10月1日)



クラブ賞 (SIA)
(2010年2月15日)
WOA賞
SRA賞

VRA東リジョン
特別賞



国立甲府病院 おむつたたみ奉仕
(毎月1回)



山梨英和中学高校生徒会
環境貢献賞
青少年育成賞



研修会 開東園 (2010年5月15日)

チャリティーディーナー
ピリーバンパン
(2009年11月6日)



2009年9月20日(日)～21日(月)山梨県立八ヶ岳少年自然の家にて、両日天候に恵まれ開催されました。

テーマは私達が守ります「緑の地球」で、参加者はSI山梨からは予選を通過した生徒2名、全体生徒は115名、サイレントオブザーバー約300名で、初めて都心を離れ、緑の大自然の中へ大集合のユース・フォーラムでした。

1日目は、白鳳大学の山本厚太郎教授の奥深い基調講演とギター演奏と共に走れコタローなどを聞かせていただいた後、グループワークショップ、発表では、生徒達は自然体で素晴らしいコミュニケーションでした。夕食後のキャンプファイヤーは、満天の星空、ガバナー扮する火の神の儀式、ダンス等、八ヶ岳の夜の寒さも格別でしたが、思い出深い感動のシーンでした。

2日目は、自然体験ハイク、各グループユニークな鳥の巣作り、自然観察指導員の伏見勝氏の講評「皆さんは、自然や環境が破壊されていることは知っていますが、それを感じていますか」では、今回のテーマをまさに肌で感じる事が出来る最高の環境の中での有意義なユース・フォーラムでした。

私は昨年9月、「国際ソロプチミスト日本東リジョン・ユース・フォーラム」の大会に参加させていただき、大勢の高校生とともに、地球を守るために今私たち一人一人ができることについて話し合いました。地球温暖化は人類にとって差し迫った問題であることを改めて感じ、自分なりにできることをしなければならぬと痛感しました。

山梨英和高等学校3年 岸本紗弥



人権擁護委員 神宮司安子先生の卓話

人権/女性の地位委員会

「人権相談室から見てくるもの、主として女性と子供の人権問題から」と題してお話しを頂きました。主な人権課題として、女性への暴力、子供への虐待、高齢者への虐待、障害者、インターネットによる人権侵害など時代を反映した課題が増えている。

女性に関する問題点としてドメスティックバイオレンスがあります。極めて親しい間柄の人からの暴力で、全国の調査では、DVによる暴力を受けた事のある女性は6人に1人の割合でした。背景にあるものとして女性差別、未熟さ、人権意識の欠如などがあります。

児童への虐待では、しつけと称して自分のいらりを子供にあたっている。児童売春、性的虐待では、インターネット上に親が自分の子供の裸を有料で流している。

女性と子供の人権の為に必要な事として、相談の窓口を増す、加害者への罰則強化、情報のとりしめし、加害者への再教育、研修、啓発などがあります。

物質的な豊かさの中で、心の豊かさを失う人が多く、夫婦、親子、高齢者など問題をかかえている。

女性の地位向上、人権擁護のためにいち早く立ち上がったのが、国際ソロプチミストアメリカで、それを今皆さんが継承され、実践されておられる事に尊敬の念を抱いていますと、言葉を頂きました。



平成21年11月17日、ソロプチミスト日本財団創立30周年記念の年次大会が京都みやこめッセにおいて行われました。425クラブ3870名の参加者があふれんばかりの中、金剛流の能「羽衣」で始まった大会は終始厳かで華やかな雰囲気包まれておりました。

山梨ボランティア協会よりご推薦いただいた「五風十雨」代表向山邦史様が環境貢献賞に入賞され、私たちも誇らしい気持ちでいっぱいでした。地球規模で大気汚染が深刻化している中、日常的に美しい地球を守る活動を長年にわたって続けてこられた向山様の受賞は当クラブにとりましても嬉しい限りです。会場で贈呈式の様子を見守ることができ、とても感動いたしました。

向山様の益々のご活躍をお祈りするとともに、私たちの活動も今後よりいっそう精進していかなければと心新たにいたしました。



卓話「幼児緑育研究会」

環境保健委員会

「幼児緑育研究会」は、「子供の心に緑の種をまこう」をモットーに、幼児へ地球環境と森林資源の大切さを指導し、育む心を高めようと活動しているボランティア団体です。その活動の趣旨は国際ソロプチミスト日本東リジョン、2008～2010年期の目標である、次世代につなげよう「緑の地球」―再生を目指して。キーワード「人と自然の調和」の目標にまき合致するものであると思われました。当日は、代表の岸いず美様始め三名の方々がおいでになり、プロジェクターやカラーポイントを使ってこ



れまでの活動の様子と今後の取り組みについてもお話いただきました。活動は幼児教育の中に森林教育を取り入れたユニークなものでシアターや間伐材の積木を使って遊びながら森や水への関心を持たせるというものです。又県土の78%が森林である山梨県の特性を活かし、未来を見据え、正に中長期的に森林の持つ多様な働きを楽しく子供達の心の中に根づけさせようと地道な努力を続けていらっしゃいます。年毎に活動の場が増えており、今後は年長の子供達にも拡げていきたいそうです。熱心な取り組みを応援したいと思います。

新入会員



窪田 三枝

この度は、国際ソロプチミスト山梨に入会させて頂きましてありがとうございます。皆様とお会いして、第一線でご活躍なさっている方々はバイタリティーにあふれ、行動力に優れ、そして同時にとても謙虚であることを知り、新鮮な驚きを感じました。

これから私も、この会の活動を通じていろいろな方と出会うことで貴重な教養を頂き、皆様のように日々自分を高める努力をしてまいりたいと思っております。ご指導のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

- ・ 赤い羽根共同募金 (H21年度)
- ・ NHK歳末助け合い国内、国外寄付 (ディナー益金)
- ・ 山日新聞厚生文化事業団寄付 (ディナー益金)
- ・ テレビ山梨厚生文化事業団寄付 (ディナー益金)
- ・ 山梨ボランティア協会寄付 (ディナー益金)
- ・ (バザー益金)
- ・ ガールスカウト賛助金 (H21年度)
- ・ 山梨チャリティーズラン協賛金
- ・ タイ国ノンカイ県ハイスクール生徒奨学金 (2名分)
- ・ 山梨県緑化推進機構緑の募金 (H21年度)
- ・ 湯田高校Sクラブ活動費
- ・ 山梨県障害者福祉ふれあい会議 (H21年度)
- ・ 財団法人日本フォスタープラン協会
- ・ 湯田高等学校奨学生に奨学金 (2名分)
- ・ 湯田高等学校Sクラブ活動費
- ・ 藤村学園 (子供文化交流会)
- ・ 国際会長アピール
- ・ 国際4年期プログラム
- ・ ファウンダーベニー
- ・ 災害復興援助金
- ・ クラブキャンペーン
- ・ 一般寄付 (日本東リジョン)
- ・ リジョン災害救援金
- ・ 難民救済
- ・ チャーターパートナー・ドリームチェイサー
- ・ 日本財団維持費 (H21年度)
- ・ ハイチ地震ハイチ友の会へ寄付
- ・ HAND IN HAND 苗木寄付
- ・ クラブ賞
 - VRA賞 白井麻里奈
 - WOA賞 塩島 和代
 - SRA賞 青山ラクシャノック
- ・ 社会ボランティア賞 (青少年の部) 山梨英和高中生徒会
- ・ 環境貢献賞 岸 いず美
- ・ 青少年育成賞 古屋由美子

役員名簿

日本東リジョンC地区理事 風間 雅子 人権/女性の地位委員 寺田 岸子

会 長 田辺 文子
 副会長 中込まさ系
 (R) セクレタリー 富山美由紀
 (C) セクレタリー 木内ふじ子
 トレジャーラー 菅沼 英子
 (A) トレジャーラー 志村千枝子

理 事 秋山 桂子
 理 事 雨宮 和子
 デレゲート 野口美代子
 デレゲート 入倉美奈子

(プログラム委員会)

委員会名	委員長名	委 員					
人権/女性の地位 教 育 環境保健 国際親善と理解 スポンサーシップ SIA奉仕資金 ソロプチミス日本財団	入倉美奈子 小澤 房子 井上 昌子 雨宮 和子 富山美由紀 野口美代子 松垣 節子	橋田 禮子 上原 桂子 矢崎 京子 三科 典子 天野 せき 中村けさ代 中村けさ代	秋山 桂子 風間 雅子 坂本美知子 田辺 文子 成澤 洋子 松垣 節子 野口美代子	三井 仁代 丸茂千賀子 網倉千恵子 中丸 輝江 砂田 治子 菅沼 英子 菅沼 英子	雨宮 節子 木内ふじ子 岸本 敏江 志村千枝子 宮城 文子 宮城 文子	寺田 岸子 中込まさ系	

(テクニカル委員会)

委員会名	委員長名	委 員					
財 務 規約決議 SOLTメンバーシップ 広 報 歳 入 出 席	木内ふじ子 三井 仁代 坂本美知子 上原 桂子 飯島 朱美 宮城 文子	井上 昌子 橋田 禮子 中村けさ代 秋山 桂子 入倉美奈子 成澤 洋子	三科 典子 雨宮 節子 天野 せき 雨宮 知子 中丸 輝江 中込まさ系	網倉千恵子 風間 雅子 砂田 治子 寺田 岸子 田辺 文子 窪田 三枝	矢崎 京子 野口美代子 丸茂千賀子 岸本 敏江 松垣 節子	小澤 房子 富山美由紀 菅沼 英子	

●2010年6月 編集/広報委員会

SOROPTIMIST
Best for Women

国際ソロプチミスト山梨事務局

SOROPTIMIST INTERNATIONAL OF YAMANASHI

甲府市中央3丁目11-5
上原桂子方
TEL 055-233-1190
FAX 055-233-1108